

第12回

# 子どもとメディア 全国フォーラム

## 子どもとメディアの“新しい関係”を求めて

～暴走するデジタル社会、どう対峙するか～

コロナ禍で直接的な対面が制限され、オンラインによるつながりが急速に広まりました。その影響で子どもたちの外遊びは減少し、スクリーンタイムは大きく増加しています。

生成 AI の劇的な進化、暴走とも言える SNS やネット環境の広がりが、社会全体に強い影響を与えています。アフターコロナの現状は、子どもたちの健やかな成長・発達・学びにとって、本当に望ましいのでしょうか？

今回のフォーラムでは、「子どもとメディアの新しい関係を求めて」という当法人設立時のミッションに立ち戻り、日々進化し、ときに暴走するデジタルメディアと、いかに望ましい関係を築いていけるのかを考えます。次の3つの分科会でそれぞれのテーマを掘り下げます。

1. **乳幼児とメディア**：子育て支援を基盤に乳幼児期の効果的な啓発の実践方法を学びます
2. **教育とメディア**：GIGA スクール構想の見直しや学校現場でのメディアリテラシーのあり方を探ります
3. **社会とメディア**：世界の SNS 対策から日本の子どもたちの健康と安全をどう守るかを考えます

全員参加型のフォーラム

全分科会を、事後視聴できます

日時： 2026年 3月21日(土)  
10:00～16:00

当日参加できない方

事後視聴を  
受け付けています  
3,000 円/人

事後視聴の開始、公開期間は追ってお知らせします。

会場：

福岡会場  
クローバープラザ

軽井沢会場  
軽井沢町中央公民館

オンラインも  
あります  
Zoom

# プログラム

## ■ 10:00 基調提案

配信  
福岡



### 「変貌するデジタルメディア社会の中で 子ども達の健やかな育ちを守る」

佐藤 和夫（子どもとメディア代表理事）

日常に深く浸透したモバイル端末とインターネット環境、コロナ禍で拙速に進められた GIGA スクール構想と一人一台端末、そして暴走とも言える SNS や生成 AI の急速な進化——激しく変貌するデジタルメディア社会の中で、子どもたちの健やかな発達・学び・安全を守るための問題と課題を考えます。

## ■ 11:00 分科会 《福岡会場と軽井沢会場をつなぎます》

※昼食休憩時間は各分科会ごとに異なります。

### 1. 乳幼児とメディア

コーディネーター：佐藤和夫

メイン配信  
福岡

### 「より良い啓発実践をともに学ぶ」

#### 【1】基礎知識の共有

「乳幼児とメディアに関する提言、影響のエビデンス、啓発の基本的な考え方」  
(1か月健診での啓発実践も)

佐藤 和夫（九州医療センター小児科 / ときつ医院 / 子どもとメディア代表理事）

#### 【2】具体的実践例の発表

コーディネーター：佐藤 和夫、コメンテーター：内海 裕美（吉村小児科）

「小児科医が伝える、乳幼児期のメディア啓発」  
～子どもの育ちを守るために～

佐藤潤一郎（佐藤小児科）

「子どもの「遊びと体験」が豊かになれば」

掛江佐知子（こばと保育園）

「親」になる前からの子育て支援～プレママ・パパ・高校生も～

宇佐美純代（文政保育園）

----- 昼食・休憩 -----

「乳幼児親子への啓発～乳幼児健診の現場から」

瀧口 輝美（福岡津屋崎子ども劇場常任理事）

「子育て支援仲間が親や市と共につくった『子どもの育つ場所』」

横地 景子（子育てすんなら柳川隊）

「どう守る？ デジタルネイティブの子どもたちの脳」

富岡ひとみ（在宅保健師会あいち、NPO かけはし）

～母子保健の現場における実践報告～

#### 【3】グループ討論と全体討議

## 2. 教育とメディア

コーディネーター：山田真理子

メイン配信  
軽井沢

### 「教育の中のメディアの問題を考える」

#### 【1】基調講演

「学校現場でメディアリテラシーを広げる」

松島 恒志（子どもとメディア信州理事長 / 松本大学教職センター専門員 /

子どもとメディア常務理事）

----- 昼食・休憩 -----

#### 【2】シンポジウム「学校現場あるある」を超えて

山田真理子（チャイルドライン「もしもしキモチ」代表理事 / 子どもとメディア代表理事）

松島 恒志（上記基調講演と同）

豊泉 行男（子どもとメディア静岡理事長 / 静岡子どものからだと心研究会 / 子どもとメディア理事）

①性被害、性的画像の流出（撮影罪・加害）②保護者自身がネットトラブル③ネット依存④文章を書く力の低下、短文化、日本語（日常語）の理解ができない大学生⑤小学生がパパ活（スマホ決済で金銭授受が容易に）⑥すぐスマホで調べる、など学校現場での様々な課題からいくつかを取り上げ、参加者と共に討議します。

#### 【3】メディアリテラシーカリキュラム試案

・2027年度の学習指導要領の改訂に合わせて提案：

試案を提示し、参加者の意見を加筆して文部科学省に提出予定。

・メディアリテラシー体験：

メディアリテラシーの内容が身体に落ちる形で体験できる「コミュニケーション体験」と「昔話報道」を紹介します。中高校での実践報告があります。

## 3. 社会とメディア

コーディネーター：中山憲康

メイン配信  
福岡

### 「世界のSNS対策」～日本は何をすべきか～

#### 【1】基調報告 SNS、AIを取り巻く世界各国の動き

中山 憲康（新聞記者 / 子どもとメディアみやざき運営委員 / 子どもとメディア常務理事）

・SNSの規制、世界の動き：

オーストラリアでは、世界で初めて16歳未満のSNS禁止法案が施行されました。いま世界各国でSNS規制の動きがあります。その反動も起こっています。各国の動きから、なすべきことを学んでいきます。

・発展するAIの光と影：

急速に進化するAIが、子どもから大人まで日常生活のさまざまな分野で活用されています。非常に優秀なAIですが、内在する負の側面もあります。その光と影を事例で追います。

大町 俊介（子どもとメディアながさき代表理事 / 子どもとメディア理事）

小松 直子（福岡県嘉麻市碓井地区公民館長 / 子どもとメディア理事）

三宅 玲子（チャイルドライン「もしもしキモチ」専務理事 / 子どもとメディア常務理事）

和田貴美子（福岡市子ども育成調査アドバイザー / 子どもとメディア常務理事）

----- 昼食・休憩 -----

#### 【2】会場討論 日本はいま、何をすべきか

古野 陽一（北九州子育て・親育ちエンパワーメントセンターBee理事 / 子どもとメディア常務理事）

・少人数グループでの討議

■ 15:10 全体会

配信  
福岡

《各分科会から報告》

# 全国フォーラム視聴の申し込み

## ■視聴方法の選択と参加費

当日参加（事後視聴を含む）  
4000円

当日参加せず  
事後視聴のみ  
3000円

まず参加分科会を選び

次に参加会場を決定

1. 乳幼児とメディア

福岡

2. 教育とメディア

軽井沢

3. 社会とメディア

Zoom

全分科会セット  
編集版

## ■申し込み（QRコードかメールで）

1. QRコード



スマホで左のQRコードを読み込み、フォームの指示に従ってご入力ください。当日参加できない事後視聴のみの申し込みもこちらから入力できます。

2. メール

[forum@komeia.or.jp](mailto:forum@komeia.or.jp)

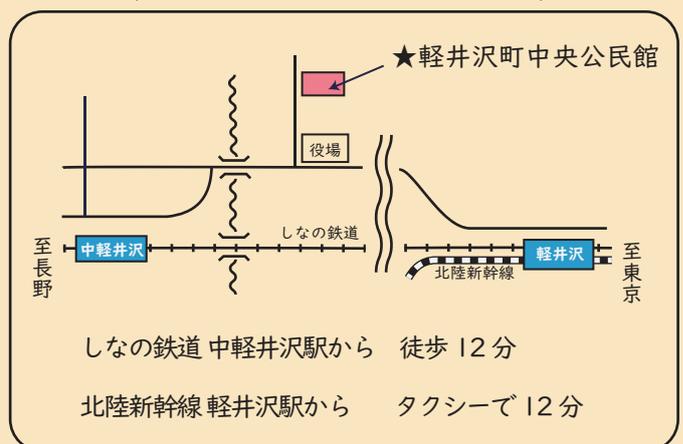
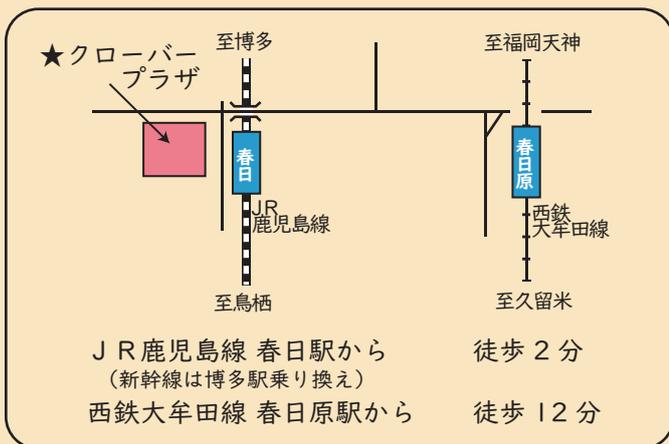
当日参加の方は希望する「分科会」と「会場もしくはZoom」を、事後視聴のみの方はその旨を明記し、「住所、氏名、職業、電話番号、メールアドレス」を記入して、左記アドレスへ送信してください。

## ■申し込み締め切り 2026年3月14日（土）

## 会場アクセス

福岡会場：クローバープラザ  
（福岡県春日市原町3丁目1-7）

軽井沢会場：軽井沢町中央公民館  
（長野県軽井沢町長倉2353番地1）



寄付・協賛金を随時受け付けております  
ご協力をお願いいたします

- ◆福岡銀行 けやき通り支店 普通395311  
特定非営利活動法人子どもとメディア 代表理事 佐藤 和夫
- ◆郵便振替 01720-9-107923 (特)子どもとメディア



特定非営利活動法人

子どもとメディア

Eメール：[forum@komeia.or.jp](mailto:forum@komeia.or.jp)  
tel:092-724-6323 fax:092-403-6262

問合せは  
こちらから

